

☪ New Series 温泉めぐり…秘湯・悠湯・ゆけむりの郷さとをご紹介します

明治38年開業の中小屋温泉

私の勤務先である北海道医療大学(当別町)近郊にある中小屋温泉を紹介しましょう。

中小屋温泉は、国道275号線を北海道医療大学から月形町方面に進み JR 学園都市線、本中小屋駅手前(小さな駅です)で左折、直進、道の一番奥にあります。宿泊施設もあり、まさに、山間の温泉一軒宿です。

創業は明治38年ですので、相当歴史のある温泉と言えます。泉質は硫黄泉にホウ酸が60%も含まれるそうです。そのせいか、昔から皮膚病には著効する例もあるそうです。私も北海道医療大学・北方系生態観察園内での仕事のおりに、よくツタウルシにかぶれるのですが、ステロイド剤でも治らないのに、この温泉に入浴すると、2~3日ほどでかなり改善しますので、欠かすことのできない温泉です。山菜採りでウルシかぶれに困っている方、試してみる価値はあります。

ところで、私と中小屋温泉との付き合いは、大学生時代から30年以上になります。ですから温泉の女将ともすっかり仲良しです。料理がとても上手で、特に秋口からのさまざまな季節の漬物は絶品です。また、宿泊すると、周囲に人工的な



のは何一つないので、夜はとても静かです。温泉、女将の山菜寄せ鍋、麦酒を組み合わせると、極上の睡眠が得られるのも中小屋温泉の特徴です。

さて、温泉の様子を紹介しましょう。

大浴場は、かなり広くて(写真①)、流れ落ちてくる温泉水が、浴槽内の岩に当たる音を聴きながらの入浴になりますので、とても心が安まります。そして…、なんととってもお伝えしたいのがシャワー(②)。私の記憶では昭和40年代の銭湯にあったそれと同じものです。実に懐かしい！ さすがに歴史ある温泉です。レトロな感じが好きな方にお勧めです。さらに、大浴場の隣には岩風呂があります。大浴場よりも低めの温度設定ですので、長い時間浴槽に入っていることができます。お勧めは冬。窓の外の雪景色を眺めながらの入浴は、心の中の溜まった邪を取り払ってくれます(③)。また、小さいながらサウナ風呂もあります(④)。



①大浴場

広い大浴場でのゆったりとした入浴は、都会の喧騒の中で忙しく生活している方にとっては、心のオアシスになるかもしれません。

さて、最後に中小屋温泉近くにあるステキな農家さんを紹介しましょう。

野口農園(地図参照)。とにかく全ての農作物が美味しいのです。イチゴ、完熟トマト、スイカ、トウモロコシ、キャベツ、ハクサイ、ダイコン、お米はぜひ食べて欲しいです。

地産地消、身土不二は、漢方の原点。とか言いながら全てを楽しんでいます。

中小屋温泉と野口農園をセットで、ぜひ味わってみてくださいませ。

(編集子：K)



②レトロなシャワー



④サウナ



③雪を見ながら岩風呂

中小屋温泉 (石狩郡当別町中小屋 電話：0133-27-2011)

入浴料：大人500円 子供200円

日帰り入浴：午前9：00～21：00

宿泊料(一泊二食)：7,000円～



野口農園(石狩郡当別町中小屋 電話：0133-27-2417)